

## 【2023年スギ・ヒノキ花粉情報：シーズン総括】

### 【飛散数】

昨年の約 2.7 倍と予想されたスギ・ヒノキ花粉飛散量は、スギ花粉 6,637 個、ヒノキ花粉 1233.7 個、総数、約 7,871.1 個でした。

①『前年比』：少なかった昨年（スギ花粉 3838.3 個、ヒノキ花粉 1333.2 個総数 5171.5 個）と比較し約 1.5 倍。  
『過去 10 年平均』の約 4,500 個との比較で約 1.7 倍。

（都内の最近 10 年の平均飛散総数は約 4,000～5,000 個です。）

### ②スギ花粉飛散開始日

ほぼ例年並みの 2 月 14 日頃と予想と通りの飛散開始となりました。（都内の例年平均は 2 月 14 日頃）

### ③今シーズン飛散数

スギ花粉所観測日 1 月 4 日

スギ花粉飛散開始日 2 月 12 日（積算気温 438.2℃：例年平均約 440～500℃）

スギ花粉最大飛散日 3 月 2 日

スギ花粉最大飛散数 769.4 個

スギ花粉飛散終了日 4 月 24 日

ヒノキ花粉所観測日 2 月 23 日

ヒノキ花粉飛散開始日 2 月 28 日

ヒノキ花粉最大飛散日 4 月 日

ヒノキ花粉最大飛散数 108.3 個

ヒノキ花粉飛散終了日 4 月 24 日

### 【当院の予想に対する分析】

本日までのスギ+ヒノキ花粉飛散総数が 7871.1 になりました。東京都の発表による都内のスギ+ノキ飛散総数が 11,500 個とすると、約 68.4%で飛散終了した計算になります。

◆東京都の花情報（2023 年 1 月 26 日）の予想を見ると

（<https://www.metro.tokyo.lg.jp/tosei/hodohappyo/press/2023/01/26/18.html>）

花粉の飛散開始日は 2 月 13 日から 17 日ごろ

今春の飛散花粉数は、昨春の 7 倍

都内（千代田区）の飛散予想を、8,500～11,500 と予想しました。

◆花粉シーズン前のスギとヒノキに花芽調査で、発育が良いことが確認されていたため、当 HP で、花粉飛散総数を 11,500 個として分析したため、約 68.4%で飛散終了した計算になります。

飛散予想最大値 = 11,500 個として分析すると、今年の飛散数は予想の 68.4%。

飛散予想最小値 = 8,500 個として分析すると、今年の飛散数は予想の 92.6%、

の飛散数となり 苦しい解釈ではありますが、良く解釈すると、それほど予想は大きくは外れていないとも分析されます。

◆自分の今シーズンに対する印象は、関東近郊でのヒノキ花粉の発育状況が良好であった報告を加味し、スギ花粉 7,500 個、ヒノキ花粉花粉 4,500 個 総数 11,000 個と予想しました・

スギ花粉は、自分の予想の 88.5%、ヒノキ花粉は、27.4%しか飛散しませんでした、結論として、

ヒノキ花粉の飛散数が、予想より大幅に少なかったため、総合的に予想が大幅に少なかった、という結論になります。ヒノキ花粉は、

冬眠から覚醒した後の2月から3月に花芽が成長し花粉量が決まります。なぜ、今年、ヒノキ花粉が少なかったかは、専門家（NPO 花粉情報協会）の分析を待てねばなりません。

◆**その他に、今年のスギ・ヒノキ花粉飛散に大きな影響を及ぼしたのは、2月～5月現在も続いている、記録的な暖冬とそれ以降の気温の高さです。**

この影響を受けて、今年の花粉シーズンは、飛散開始は例年通りの、2月中旬でしたが、その後の最高気温の高さに影響を受けて、3月上旬には昨年約2倍の花粉が飛散し、重症化～最重症化が著しく、抗IgE抗体（ゾレア）を使用する方も昨年の約2倍でした。その後、高温傾向は持続し、ヒノキ花粉の飛散量が多くなかったことの影響を受けて、4月には、多くの花粉症症状は軽症化する傾向が認められました。

### 【今後に向けて】

春から記録的な気温の高さが継続しています。長期予報によれば、5月以降、関東地方において今夏、高温が50%、並が30%と高温となる確率が高くその一方、今年の夏には、エルニーニョ現象が発生する確率が高くなってきました。しかし、西太平洋熱帯域での対流活動が活発となると考えられているため、今年の夏は例年以上暑い夏となると分析されています。

来年の予想は、2023年9月に時点で、夏までの気象条件からの花粉飛散予報が発表できる予定です。

HPを参考にしてください。

### 【終わりに】

◆過去20年以上、花粉観測をライフワークとし、観測データを、毎晩、深夜に送信して下さる、Dr.T.Endo.M.D.敬意を表するとともに、心より深謝いたします。お疲れ様でした。

◆2022年より、花粉リアルタイム情報を発信していた、環境庁「はなこさん」が中止となりました。そのため、リアルタイムの花粉動態が分からないため、飛散分析も限定したものとなってしまいました。しかし、現在、東京（都内）で、毎日、花粉情報を前日の測定データを、当日深夜に発信している花粉情報は、Dr.T.Endo.M.D.のデータのみとなっています。）

◆花粉症の方、自分のクリニックで通院中、スギ舌下免疫療法（SLIT）や皮下免疫療法（SCIT）実施中、ゾレア（抗IgE抗体）を使用している方、また、花粉症治療にたずさわっている医療関係者や気象予報、花粉予報関係の方などに、少しでもこの情報が役立つことを希望しており、今後も、花粉情報がほとんどなくなりつつある現状において花粉情報を、出来る限り、今後とも発信してゆく予定です。

◎本日の、今年の花粉飛散に分析の総括を発表して、これをもって、『2023年スギ・ヒノキ花粉飛散情報』を終了します。

（お疲れ様でした）

2023年5月28日 ながくら耳鼻咽喉科アレルギークリニック（永倉 仁史）